

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年08月15日

計画の名称	一宮市における災害に備える下水道整備（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	一宮市													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		3,038	A	3,038	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	(R2末)	(R4末)
1	第1排水区・南部排水区の床上浸水被害を解消するために必要となる対策貯留量（17,000m3）のうち、対策達成率を49%（H30当初）から95%（R4末）に増加させる。			
	浸水被害軽減対策達成率(%)	49%	63%	95%
	雨水貯留施設整備量(m3) / 対策必要貯留量(m3)			
2	災害対応拠点である東部浄化センター管理棟の耐震化を行い、処理場・ポンプ場施設の災害対応拠点としての機能を確保できる割合を0%（R2末）から100%（R4末）に増加させる。			
	処理場・ポンプ場施設の災害対応拠点機能確保率(%)	0%	0%	100%
	耐震化済み対応拠点数(箇所) / 処理場・ポンプ場施設の災害対応拠点数(箇所)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	一宮市	直接	一宮市	管渠（ 合流）	新設	第 1 排水区・南部排水区 （浸水対策）	合流管118ha、管渠布設1,302 m	一宮市	■	■	■	■	■	3,006		-	
	A07-002	下水道	一般	一宮市	直接	一宮市	終末処 理場	改築	東部浄化センター管理棟 耐震化（地震対策）	管理棟耐震化 1棟	一宮市			■	■	■	32		-	
											小計							3,038		
											合計							3,038		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
一宮市下水道社会資本総合整備計画評価委員会において事後評価を実施	令和6年8月1日
	公表の方法
	一宮市公式ウェブサイトで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	番号1 管渠布設により対象排水区内の対策貯留量が増加した。 番号2 災害対応拠点の耐震対策を実施することにより発災時の機能を確保した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	—

○特記事項（今後の方針等）

次期社会資本総合整備計画において引き続き浸水対策を実施し、さらに雨水排除機能の確保を推進する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	浸水被害軽減対策達成率(%)		
	最 終 目標値	95%	—
	最 終 実績値	95%	
2	処理場・ポンプ場施設の災害対応拠点機能確保率(%)		
	最 終 目標値	100%	—
	最 終 実績値	100%	

計画の名称	一宮市における災害に備える下水道整備（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	平成30年度 ～ 令和4年度（5年間）	交付対象	一宮市

